

令和5年度 事業紹介

総会	5月2日	62名
有害環境改善活動事業地域パトロール	6月8日	48名
自然体験「つくる・あそぶ・たべる」	7月17日	212名
緑陰子ども会写生会（どんぐり山公園）	8月2日	73名
〃（善福寺北児童館）	8月2日	90名
〃（善福寺公園）	8月3日	34名
おもしろスポーツ大会	10月15日	151名
歩こう会	11月3日	96名
委員研修（施設見学会）	2月16日予定	
広報紙「かみいぐさ」発行	2月発行	

児童館との共催事業

ハロウィンウォークラリー	10月21日	271名			
ざりまるまつり	10月29日	337名			
善北みんなのステージ	12月16日	191名			
もちつき大会	1月28日				
■子ども・子育てプラザ善福寺	815名	■上井草児童館	422名	■善福寺北児童館	337名

上荻窪青少年育成委員会・今川児童館との共催事業

手作り凧に挑戦！	1月13日	68名
桃井はらっぱ手作り凧あげ大会	1月14日	502名

令和5年度 上井草青少年育成委員名簿

- 善福寺町会
 - 小美濃英幸 ■本橋成一 本橋登美子 □野田隆雄
 - 尾崎美代子 本橋秀夫 本橋浩一 ■池田洋子 ■黒崎真澄
- 新町自治会
 - 浅井邦夫 古谷充廣 野田敏夫 野田吉宏 西山茂
 - 野田明広 野田雅史 鈴木雅也 □菅野美岐 ■新理恵子
- 三谷町会
 - 小美野公治 小美野雅豊 □大堀勉 石井世津子
 - 鈴木詔一 小川文子 坂田美智子 可児聡子 ■小美野義彦
 - 小林朱実
- 上井草自治会
 - 塙耕平 □石田悦実 加藤隆弘 鈴木定雄 市川正人
 - 服部靖 大島弘士 志村喜代彦 大西孝博 西山尚吾
 - 岡崎郷江 ■増田有希子
- 今川町親和会
 - 鈴木良明 ■小林三郎 山口真紀雄 山口健蔵 手嶋淳二
 - 浅賀正親 清水清佳 長久保道子 谷口典孝 □内海悦子
 - 林由紀子

- 宿町町会
 - 田中奈那子 鈴木正義 尾崎永治 □榎周三 今野征一
 - 今野征一 片岡康子 城戸陽子 遠井洋子
- 井荻自治会
 - 青木武晴 鷲尾卓夫 山縣喜良 芦原宏行 吉田和枝
 - 榎本秀人 本橋忠幸 杉本文彦 榎本千秋 鴨下義一
 - 岩淵晴子
- 井荻三丁目会
 - 田中裕治 嶋田昌生 小林勝彦 野田信雄 津森和治
 - 関根一矢 ■会田洋子
- さくら町会
 - 宿澤三政 ■蜂谷亜紀 脇芳郎 村山忠良 西村由徳
- PTA
 - 桃井第四小学校○竹内智子 井荻小学校○風間洋子
 - 三谷小学校○日下佳紀 荻窪中学校○石原咲由美
 - 井草中学校○上島あや

新町自治会前会長の古谷充廣様と宿町町会前会長の鈴木正義様が2月にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

○は常任委員 □は事業部 ・は総務

- 子ども・子育てプラザ善福寺 淵上広美
- 上井草児童館 本橋俊充
- 善福寺北児童館 志村明男

- 区民生活部 伴裕和
- 地域活動係 大久保喜三 尾形彩子

第23号 かみいぐさ

発行 上井草青少年育成委員会 令和6年2月



緑陰子ども会写生会
木陰が気持ちいいよ



自然体験『つくる・あそぶ・たべる』
竹を切ったり削ったり磨いたり



歩こう会
キノコ見つけ！
ビンゴ！



おもしろスポーツ大会
モルックおもしろーい



地域
パトロール
完了！

町会長より コロナ禍を経ての活動について



浅井会長 田中会長 小美濃会長 鈴木会長

善福寺町会会長 小美濃英幸

「善福寺こども花火まつり」で笑顔の子どもたち

善福寺町会ではコロナ禍で町会活動が休止したことを契機に町会行事の見直しを行いました。

過去には善福寺公園で花火大会が実施されていましたが、今では公園は火気厳禁で花火をやる場所がなく、子どもに花火ができる場所を提供したいとの意見が出て議論が進み、善福寺住職のご厚意により境内をお借りして「善福寺こども花火まつり」を開催することになりました。

当日は、かき氷や綿菓子、千本引きくじといった縁日も実施したところ、当初の想定を大幅に上回る700名超の来場がありました。色鮮やかな花火に子どもたちの笑顔が映え、保護者と一緒に楽しむ姿が見られ、フィナーレのナイアガラ花火では、滝のように流れ落ちる花火に歓声が沸き起こりました。

新町自治会会長 浅井邦夫

自治会と青少年育成委員会との連携について

昨年より新町自治会の会長を務めております。皆様よろしくお願ひ申し上げます。

自治会は、様々な活動を通して、会員と地社会を結ぶ重要な組織です。ただし、どうしても大人向けの事業などが中心となりがちです。しかし、会員家族には青少年も多く居り、地域の青少年の健全育成は自治会活動にとっても重要な一つの柱となるものです。

こうした中、自治会と青少年育成委員会が連携して、青少年向けのスポーツ、餅つきをはじめとした文化イベント、教育プログラムなどを行い、青少年の成長や社会参加を促進する活動を行うことは大切と考えており、両者の協働関係を維持発展させていきたいと考えております。

今川町親和会会長 鈴木良明

町会では、町内の皆様が安心して暮らし、町への愛着を高めていただける事業を実施しています。しかし、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の位置づけが5類に移行されるまでの間、定期総会や役員会等さまざまな事業を中止したり、変更して実施いたしました。その中でも、多くの子ども達や地域の皆様に参加いただいている「灯りde絆」、ご家族の皆様と共に一同に会してお祝いをする「小学校入学祝い贈呈式」を中止せざるを得なかったことは非常に残念でした。

本町会の活動方針の一つに「子どもを大切にすまちづくり」があります。本年度は徐々に本来の活動に戻して実施いたしました。今後も子ども達の笑顔が見られる事業を推進して参りたいと存じます。

宿町町会会長 田中奈那子

宿町町会の会長を務めさせて頂くことになりました。どうぞ宜しくお願いいたします。

初めて上井草育成委員会に関わらせていただいたのは、井荻小のPTAの時からでした。その後青少年委員、民生児童委員として30数年活動させて頂いています。時の流れと共に生活環境は変わっていますが、子どもたちが健やかに成長する姿は変わっていないことが幸せです。施設再編で児童館から子育てプラザに変わった所もありますが、今まで通りに子どもたちに寄り添い元気に地域で育っていくお手伝いを、委員の皆さまと協力していきたいと思ひます。今後はどんな活動が今の時代に良いのか話し合いながら始めていく必要もあるのかと感じます。宿町町会としても出来る限りの協力体制で、活動を支えて参りたいと思ひます。

『雲ひとつない青空に子ども達の手づくり凧』

上井草青少年育成委員会の毎年の事業として開催しています『桃井はらっぱ凧あげ大会』が快晴の下行われました。（共催：上荻窪青少年育成委員会、今川児童館）

前日の『手づくり凧に挑戦！』に参加の子ども達に加えて、朝早くから並んで100名のお申込みをいただく『かんたんカイトづくり』を楽しむ親子さん達で、大変賑やかな会場となりました。

来賓に白石教育長、子ども家庭部長、児童青少年課課長、荻窪警察署署長・副署長、都議会区議会の議員の方々、近隣の小学校の校長先生方にお越しいただき、開会式の後、凧あげスタート！

程よい風が吹き始め… \高く高く舞い上がる凧／

毎年お手伝いいただく常任委員のメンバー、PTAのお父さんお母さん方、凧揚げ名人に凧の病院の先生など縁の下のかもお借りしての大イベント。『甘酒のふるまい』も復活して、体も心も温まる最高に楽しい大会となりました。



【1/13(土)】手作り凧に挑戦！
思い思いの絵を描いた六角凧をつくりました。
●午前部 10:00～
(参加小学生19名 お手伝い20名)
●午後部 14:00～
(参加小学生18名 お手伝い17名)

【1/14(日)】桃井はらっぱ手作り凧あげ大会
六角凧やその場で手作りかんたんカイトなど、持ち寄った凧が桃井原っぱの空を彩りました。
(上井草青少年育成委員会実行委員28名)
●会場設営 8:30～
●エントリー 9:30～
●かんたんカイト 9:30～
●開会式 10:30
●凧あげ開始 10:45～
●甘酒ふるまい 10:45～
●凧あげ審査 11:15～11:45
●閉会式 12:15
●片付け 12:30～



お世話になっている小学校の校長先生にお話を伺いました



榎本校長 田中校長 加藤校長

目的・ねらいを明確にして、子供たちにとって何が良いのか、どんな力を身に付けさせたいのかということをよく考えて教育活動を進めています。

今年度、大きな行事である「モモリンカップ」や「モモフェス」では、子供たち同士がお互いの頑張りを見合えることができました。保護者や地域の方の入場制限等もなくなりました。子供たちは、たくさんの方に自分たちの頑張りを見てもらえることで、緊張感を味わいながらも、表現すること、力いっぱい活動することの楽しさを実感していました。

今後も地域の皆様と共に様々な人と関わりながら豊かに成長していく子供たちを育てていきたいと思っています。

桃井第四小学校 校長 加藤路恵

井荻小では子供たちが主体的に取り組める活動を重視しています。コロナ禍でも何ができるか…職員一同悩みぬいて「できること」を探ってきました。コロナ禍当初、運動会では学年発表として保護者のみの参観でした。順次子供たちでも見合う場を増やし、表現、徒競走、競技、応援合戦…と増やしながらい前の運動会に近づいてきました。今年度の運動会は参観の制限をせずに実施しました。多くの方々が子供たちの頑張りや温かく笑顔で見守る素敵な時間となりました。運動会は1年生から6年生までの成長が見て取れます。小学校ならではの良さを大事にしていきたいと思ひます。次は選抜リレーも…というお声をよく聞きますが、全てのご要望を叶えられるかは難しいですが…。他の行事・活動も同様に何を大切にするのか、どんな力をつけるのか、目標を明確にしていくことを大切にしています。

井荻小学校 校長 田中裕次

コロナ禍を経て、学校では「人と関わる」活動が再開されています。休み時間に人数制限なしに全員で遊ぶこと、授業中にグループでの話し合いを気兼ねなくできること、向かい合って楽しく給食を食べること等、当たり前のことができるようになったことが、子どもたちの成長にとって大変重要なことだと感じています。関わりが増えると当然けんかやめめごとが出てきます。でもそういう体験を通して、相手を思いやる気持ちや自分の気持ちを伝えることの大切さを身に付けていくのです。同学年の友達だけでなく、異学年の友達、地域の方々など、様々な世代の方々とも触れ合うためにも、育成会の事業に多くの子が参加するように呼び掛けていきます。

三谷小学校 校長 榎本純子